

## 岩橋家武家屋敷：県指定史跡

中級の武家であった岩橋家は、1603年から1653年まで角館を治めていた蘆名氏の重臣でした。岩橋家は毎年75石の俸禄を受け取りました。1石は大人1人が1年間に消費する米、およそ140キログラムに相当します。

蘆名氏の家系が断絶した後、岩橋家は佐竹北家に仕えました。佐竹北家は1650年代から1871年に幕藩体制が廃止されるまで角館を治めました。

一般公開されている岩橋家の武家屋敷は、江戸時代（1603-1867）後期に改築されました。もともとは茅葺きだった屋根は、その後の改築で現在の板屋根の様式になりました。

屋敷と敷地の配置は、角館の中級武士の邸宅。敷地内には江戸時代の特徴が残っており、またシダレザクラや市の天然記念物に指定されている樹齢300年のカシワの木があります。